

## 社会を支える税金納付

所沢市立美原中学校

三年 遠藤 結衣

今回の夏休みの学校課題により、日本の税金の種類が約五十種類もある事に驚きました。私が調べた中で税金の使い道が主に六つある事がわかりました。「教育」「社会保障」「住民の安全」「便利で豊かな暮らし」「健康で快適な暮らし」「災害復旧」です。その中で一番たくさん使われているのが、「社会保障」です。

社会保障の中で少子高齢化が大きな問題となっています。高齢者の増加にともない、年金や医療、介護費が増加している状況です。しかしこれらの費用を負担する現役世代が減少してしまふと、一人一人の負担がますます大きくなってしまい、また二〇五〇年には一・三人が高齢者一人を支える事になります。一刻も早く少子化対策を実行しなければなりません。先日政府が発表した少子化対策をさまざまな年代に知ってもらい、早く実行してもらいたいです。

そして、これを実現させるには更にお金が必要です。今でも国の借金が増え続ける中どのようになればよいのでしょうか。

簡単に考えると、たりない分のお金を税金として増やせば良いと考えますが、それでは私達国民の生活が一層苦しくなってしまいます。これは私の個人的な考えですが、まずは歳出している税金の見直しを少しだけでも出ていくお金を減らすべきだと思います。労働人口が増えれば、税収も増えるのでやはり少子

化対策を行う必要があります。たとえ国の借金が増えたとしても、第一に取り組む事だと考えます。

過去の歴史を振り返ると、七〇一年の奈良時代、「大宝律令」から約千三百年も税制度が続いており税金は国にとってとても重要な物です。

私の生活の中で何が税金として使われているのか考えてみました。身近にある物は学校です。小学校から今まで通ってきたが、ほとんどが無料である事に改めて気づかされました。おかげで勉強や部活動など自由に組み組む事ができ、ありがたいと思います。また、私がカゼを引いた時病院に行き薬をもらいましたが、全て無料なのも税金でした。家の周りの公園、道路、街灯も税金で造られています。

納税したお金が私達の当たり前な生活を支えている事に感謝していききたいです。私も大人になったら払うべき税金はしっかりと納付していききたいと思います。